

コロナ禍における 子どものこころの健康支援について

～教育委員会における相談体制について

令和3年度第2回総合教育会議

R4.2.9

学校教育部教育センター

1

令和2年度当初臨時休業明け対応

学校再開・再登校に向けた児童生徒の 不安解消リーフレット（教職員向け）

令和2年5月 越谷市教育委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、臨時休校や外出自粛要請などで子供たちの行動が制限されて3ヶ月になります。

連日、各種メディアにより新型コロナウイルスに関する大量の情報が流れています。越谷市でも実際に感染した方がいる現状をふまえると、子供たちやその保護者にも心身ともに大きなストレスが加わっていることでしょう。そのストレスは、学校生活の中で学習意欲や集中力の低下、いじめ、不登校など、様々な問題行動として現れることが考えられます。

今まで経験したことがない緊急事態を乗り越え、子供たちが安心して再開した学校に通うことができるように、教職員の皆様には子供たちの心のケアを一層充実させていただきたく思います。

「チーム学校」で子供たちを守ろう！

学校再開・再登校にあたっての子供たちへの対応

- ・「みんなよく頑張って学校に来たね。」と再会を喜び、ねぎらいます。何よりも大切なのは、教師が元氣な笑顔で子供たちを迎え、一緒に過ごすことです。「学校が楽しい場所・安心できる場所」ということを実感させましょう。
- ・できるだけ一人一人に声をかけたり、様子を観察したりしましょう。反応の変化や行動の変化を見逃さず、相談に応じる機会をつくりましょう。大きなストレスを抱えていることを前提にして丁寧かつ受容的・共感的な対応を心がけましょう。
- ・些細な言動でもできたこと、頑張っていることを褒めたり認めたりして、子供の自己肯定感を高めましょう。
- ・感染症拡大予防については、引き続き指導していく必要がありますが、正しい情報を伝え、過度な不安を与えないように配慮しましょう。
- ・どのように対応したらよいか分からない、悩んでしまう場合は、一人で抱え込まず、学年主任、養護教諭、教育相談主任、特別支援教育コーディネーター、管理職に報告・連絡・相談して組織で対応しましょう。
- ・睡眠や食欲に長時間影響が出ている場合や行動上の問題が大きい場合などは、専門的な対応が必要になる場合があります。養護教諭、スクールカウンセラーと連携して対応を考えましょう。
- ・校内だけでは対応が難しい場合は、教育センターへの教育相談を紹介することや、家庭への支援が必要な場合は、スクールソーシャルワーカーの派遣要請なども考えられます。また、校医や連携可能な医療機関、行政機関との連携も考えられます。速やかに管理職に相談しましょう。
- ・小学校1年生や中学校1年生については、出身幼児等や小学校から情報を収集した上で指導にあたることも有効です。連携して対応しましょう。

子供たちを支える教師にもストレスがかかります。子供が下校したら、職員室に戻って休息をとります。今日あった出来事や困ったことやびびりしたことなど、大きなことでも相談したり、多くの人と話したりすると何かヒントがもらえたり、すっきりしたりするものです。

2

本市の不登校児童生徒数の推移と国県との比較

【小学校】

小学校	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
合計(人)	40	34	35	63	53	68	82
全児童数(人)	17817	17873	17884	18034	18019	18030	17780
不登校児童の割合(%)	0.22	0.19	0.20	0.35	0.29	0.38	0.46
割合(人)	1/445	1/526	1/511	1/286	1/340	1/265	1/217
埼玉県不登校児童数	974	1032	1074	1368	1906	2121	2624
埼玉県不登校児童の割合(%)	0.26	0.28	0.29	0.37	0.52	0.58	0.72
全国不登校児童の割合(%)	0.39	0.42	0.47	0.54	0.70	0.83	1.00

【中学校】

中学校	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
合計(人)	206	180	179	177	228	267	281
全生徒数(人)	8908	8735	8806	8620	8438	8332	8572
不登校生徒の割合(%)	2.31	2.06	2.03	2.05	2.70	3.20	3.28
割合(人)	1/43	1/49	1/49	1/49	1/37	1/31	1/31
埼玉県不登校生徒数	4318	4420	4617	5138	5678	6154	6310
埼玉県不登校の割合(%)	2.32	2.39	2.52	2.84	3.20	3.49	3.57
全国不登校生徒の割合(%)	2.76	2.83	3.01	3.25	3.65	3.94	4.09

本市における教育相談体制の充実について

◇第3期越谷市教育振興基本計画より

○今日の教育を取り巻く社会の動向

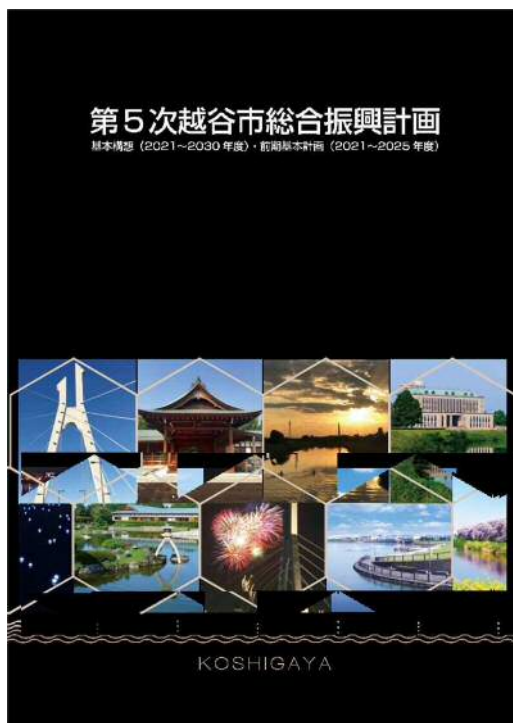
- ・人口減少・高齢化の進展、地域と家庭の状況の変化
⇒家族構造の変化、地域とのつながりの希薄化
- ・急速な技術革新とグローバル化の進展
⇒人との対面コミュニケーション能力の低下
ネットトラブル、ネットいじめ...
- ・地球規模の問題の進行
⇒自然災害の発生やコロナ禍:児童生徒の心のケアの必要性
- ・経済格差の拡大
⇒子どもの貧困:自己肯定感の低下、学力との相関関係
- ・子どもをめぐる状況の変化
⇒社会状況の変化による幼児の生活体験の不足
多様なニーズに応じた教育支援(発達障がい、外国籍)

本市における教育相談体制の充実について

◇第3期越谷市教育振興基本計画より

○今後の課題

教育相談では、**児童生徒および保護者が抱える不安や悩みが多様化・複雑化していることから、相談員およびスクールソーシャルワーカーの増員や資質向上など教育相談体制の充実が必要です。**



613 豊かな心を育む

□社会、自然等に接する体験活動や道徳教育を推進し、生きる力の基盤となる豊かな心を育みます。
 □いじめを含めた生徒指導上の諸問題については、未然防止、早期発見、早期解消を目指し、教育相談体制の充実を図ります。
 □同和問題(部落差別)をはじめとする人権教育や情報モラル教育を推進し、人権問題を主体的に考え行動する児童生徒を育みます。

【具体的な取組み】
 ○豊かな心を育む教育の推進と生徒指導の充実
 ○教育相談体制の充実といじめ防止対策の推進
 ○学校教育における人権教育の推進

指標名	現状値(令和5年度)	目標値(令和7年度)
自分には、よいところがあると感じている児童生徒の割合	小学校 54.4% 中学校 79.3%	小学校 90% 中学校 85%
【説明】児童生徒を対象としたアンケート調査における「自分にはよいところがあると思うか」という項目で、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合について、小学校 90%、中学校 85%を目標とする。		
人権教育研修会における教職員参加率	100%	100%
【説明】教職員の資質向上を目標とした各種研修への参加率について、100%を維持することを目標とする。		

第4章

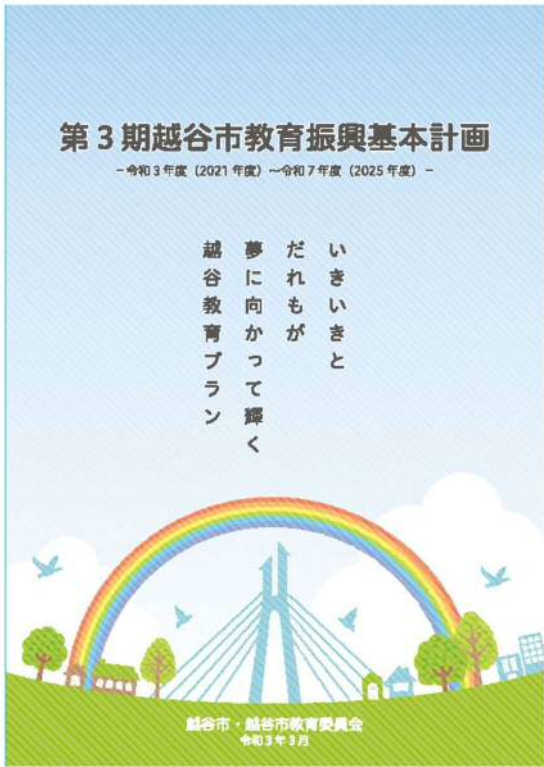
614 健やかな体を育む

□健康教育の充実を図り、児童生徒の体力向上に努めるとともに、健康増進の大切さを認識し、健康の保持増進に主体的に取り組む児童生徒を育みます。
 □児童生徒の健全な心を育むため、安全で安心な給食を提供するとともに、栄養教諭等による食に関する指導を充実するなど、食育の推進を図ります。

【具体的な取組み】
 ○健康教育の充実
 ○学校給食の充実と食育の推進

指標名	現状値(令和5年度)	目標値(令和7年度)
新体力テスト6項目中5項目以上において、個々の目標を達成した児童生徒の割合	49.4%	55%
【説明】新体力テストについて、最も掲げる目標値55%を目標とする。		
栄養教諭等による食に関する指導を実施したクラスの割合	98.0%	100%
【説明】栄養教諭等による食に関する指導(「朝食時間の指導」または、「チーム・チーピング(共同喫食)」)を実施したクラスの割合について、100%を目標とする。		

大町6



議題 教育相談体制の充実といじめ防止対策の推進 1-3-2

1321 教育相談体制の充実

- ◆児童生徒が明るく楽しい学校生活を送ることができるよう、いじめ、言葉や発達の違い、就学など様々な悩みを抱える保護者や児童生徒に教育相談活動を実施するため、専任教育相談員、専任訪問相談員、スクールソーシャルワーカーを適切に配置するとともに、SNS等を活用した教育相談活動を推進し、多様なニーズに応えられる教育相談体制の充実に取り組みます。
- ◆教育相談に関する教職員の研修を行い、カウンセリング技術の向上を図るほか、関係機関と連携し、自殺防止対策に係るゲートキーパー研修を実施するなど、教職員の実質向上に努めます。

【主担当】… 教育センター 【関係課】… 保健給食課こころの健康支援室



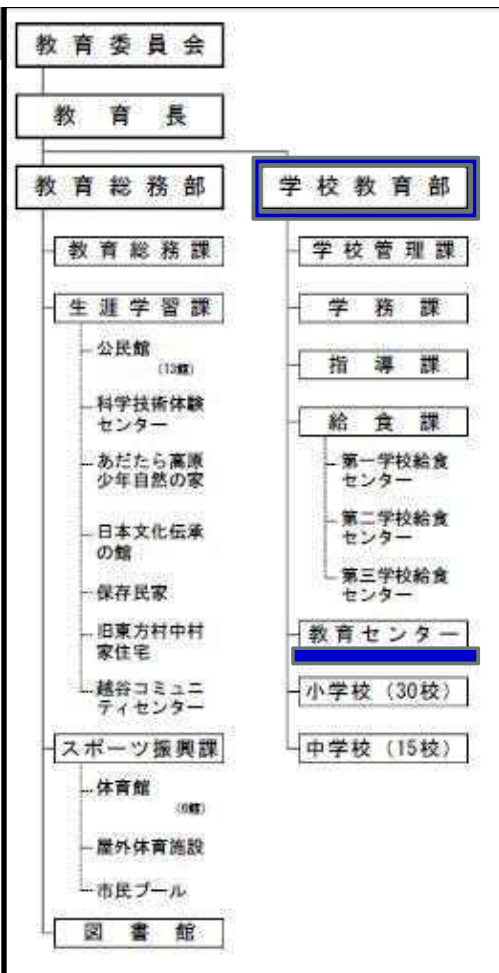
教育相談研修会

1322 いじめ防止対策の推進

- ◆各学校におけるいじめの未然防止、早期発見、早期解消を支援するため、「越谷市いじめ防止基本方針」を踏まえたいじめ防止等推進事業（いじめ相談対応連絡協議会・いじめ防止対策委員会）や市内統一アンケート調査（越谷市いせいきアンケート）を実施するとともに、予防教育の視点を重視した教職員研修（いじめ対応出前研修会）の充実を図ります。
- ◆ネットいじめやネットトラブルなどから子どもを守るため、適切なインターネットの利用方法について、保護者および児童生徒に啓発を行うとともに、情報モラル教育に関する教職員研修やサイトの監視活動（越谷市ネットバトロール）を行い、情報モラル教育の推進に努めます。

【主担当】… 指導課、教育センター

基本目標1 生きる力を育む学校教育を推進する





総合的な
教育機能

教職員
研修機能

教育研究
機能

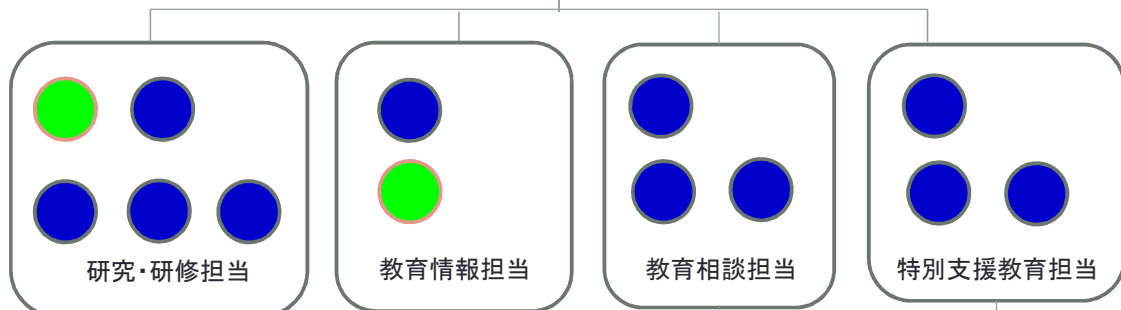
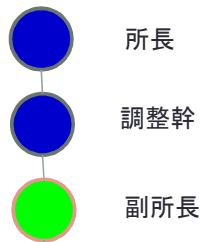
6つの機能

特別支援
教育機能

教育相談
機能

教育情報
機能

教育センター組織



▲ 教育指導員
◆ 学び総合指導員
★ スクールソーシャルワーカー
♥ 専任教育相談員
♥ 専任訪問相談員

専任教育相談員、専任訪問相談員

○専任教育相談員 越谷市会計年度任用職員 定員14名
専任訪問相談員 越谷市会計年度任用職員 定員 1名
内訳)

◇子供担当相談員 12名(前スライドの赤、緑枠黄色ハート)
⇒内8名 臨床心理士、公認心理師有資格者 小中学生担当
内3名 教員免許取得者、教員経験有 就学前幼児担当
内1名 教員免許取得者、教員経験有 きこえことば担当

◇保護者担当相談員 3名(前スライドの黒枠黄色、青色ハート)
3名ともに教員免許取得者、教員経験有(内2名は校長経験有)
⇒この3名と6名の指導主事(教育相談及び特別支援教育担当)
の計9名で保護者との相談に対応している。

11

スクールソーシャルワーカー(=SSW)

○越谷市会計年度任用職員 定員3名
⇒中核市移行に伴い、それまで県配置だったものが市配置となる。
同時に2名配置だったものを、ニーズの高まりから3名に配置増

- ・社会福祉士、精神保健福祉士の有資格者
- ・社会福祉などの専門的な知識を用いて、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけ、関係機関などとのネットワークを活用し、問題を抱える児童生徒に支援を行っている。
- ・スクールソーシャルワーカーは、校長の要請を受け、派遣を行う。

◆文部科学省は、中学校区に1名の配置を考えていて、令和2年7月と12月に文科省初等中等教育局児童生徒課生徒第1係担当者から直接教育センターに「増員はしないのか」と問い合わせ有

12

学び総合指導員

○越谷市会計年度任用職員 定員6名
内訳)

◇適応指導教室「おあしす」担当 3名(前出スライドの紺色ひし形)
⇒教員免許取得者、教員経験有

市内に3か所設置の適応指導教室において子どもたちの学校復帰
や将来における社会的自立に必要な適応力の育成にあたっている。

参考)北教室:桜井地区センター 中教室:教育センター

南教室:蒲生地区センター に設置

◇学校派遣担当相談員 3名(前出スライドの赤色ひし形)
⇒教員免許取得者、教員経験有(内2名は教頭経験有)

県配置の「学級運営改善加配」の配置前に派遣を行い、担任や子
どもたちに対する支援を実施している。

13

スクールカウンセラー、学校相談員

○スクールカウンセラー

・県による配置 心理士資格を有する者

・令和3年度配置状況

単独配置校 中学校7校(年間40回)

2校配置校 中学校8校(年間20回)

8校配置校 小学校30校(年間6～8回)

○学校相談員

・市による配置(有償ボランティア) 各校相談室における対応

・配置状況

中学校 週5日配置(1日5時間) 15名定員

小学校 週1日配置(1日5時間) 6名定員

14

教育センターにおける相談について

【相談対象】

- ・4歳児から中学生までの本人及び保護者
- ・幼稚園・保育所等就学前施設や学校の先生

【相談内容】

- ・発音、吃音、難聴、身体の不自由
- ・集中が保てない、コミュニケーション等発達面の課題
- ・登校しぶり ・いじめ ・情緒不安

15

長期休業明け前後は、登校に際して不安な気持ちをもつお子様もいます。お子様の様子を見守る中で心配なことがあれば、教育センターへお電話ください。

保護者の皆様へ

教育相談のご案内

お子さんについて、気になること、心配なことがある方は、お気軽にご相談ください。(相談の対象は、市内在住の4歳から中学3年生までのお子さんです。)



相談例

(学校生活) 先生の話を中心して聞けない、授業中に出歩いてしまう、落ち着いて行動できない、集団行動に遅れてしまう、身の回りの整理ができない、忘れ物がなくならない…など。

(学習) 集中して課題に取り組めない、理解できない内容が多い、授業についていけない、提出物が出せない…など。

(友人関係) 自分から友だちに話ができない、友だちとうまく遊べない、手を出すなどのトラブルになってしまう、いじめにあっているのかもしれない、…など。

(不登校) 学校に行く時間になると具合が悪くなる、「学校に行きたくない。」と言う、学校の話をしたがる、適応指導教室「おあしす」について知りたい…など。

(きこえ・ことば) 正しく発音できない音がある、ことばがつまるような感じの話し方をする、話がよく聞こえていない…など。

(身体) 身体に不自由なところがあるので学校生活や学習に困難さがある…など。

(情緒) すぐかっとなってしまったり、すぐ泣いてしまったり、不安が強い、こだわりが強い、一つのことに集中しすぎてしまったり、人前で話ができない…など。

(就学相談) 特別支援学級や、特別支援学校のことが知りたい、など。

(発達相談) 発達検査について知りたい、など。

越谷市教育センター

〒343-0011 越谷市増林3-4-1

☎048-962-9300 048-962-8601

申し込みは？

- 1 来所相談
月曜日～土曜日(祝日は除く) 午前9時20分～午後4時40分まで(1回40分間)
① 9時20分～10時00分② 10時20分～11時00分③ 11時20分～12時00分
④ 1時～1時40分⑤ 2時～2時40分⑥ 3時～3時40分⑦ 4時～4時40分
電話にて、事前に予約をお願いします。「相談の予約をお願いします。」と伝えてください。
- 2 電話相談
月曜日～金曜日(祝日は除く) 午前9時～午後7時
土曜日(祝日は除く) 午前9時～午後4時40分

相談の進め方は？

- 1 相談員や指導主事が、お子さんの発育や学校生活等、保護者の相談に応じます。
- 2 療育や心理の専門家が、遊びやカウンセリングをとおしてお子さんの支援をします。
- 3 必要に応じて、検査もします。(検査の前、相談が必要です。)

メール相談

- 1 市内在住の4歳から中学3年生までの子どもと、その保護者を対象に相談を行っております。
- 2 詳細は、越谷市ホームページ「教育相談」を御覧ください。

[越谷市ホームページ](#) [教育相談](#) [検索](#)

適応指導教室「おあしす」

- 1 不登校の児童生徒の自立と適応を支援します。
- 2 小集団での体験的活動を多く取り入れています。
- 3 対象は、小学校5年生から中学3年生までです。
- 4 利用の際は、教育センター→来所相談→見学→体験通室→正式通室の流れをとります。
- 5 まずは、学校へ相談してから教育センターへご連絡ください。

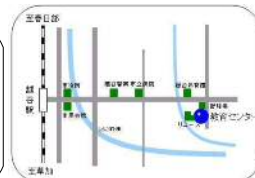


子ども専用電話相談「ハートコール」

平日:午前9時～午後7時 土曜日:午前9時～午後4時40分
※日曜・祝日・年末年始は除きます。
TEL: 048-962-8500

アクセス

東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線) 越谷駅南口から
朝日バス「増林地区センター」行き 終点下車
「総合公園」行き 終点下車 徒歩5分
JR武蔵野線 越谷駅南口から
タローズバス「松伏ターミナル」または「東埼玉テクノポリス」行き「総合体育館前」下車 徒歩10分
JR武蔵野線 越谷駅北口から
タローズバス「タローズ本社」行き「総合体育館前」下車 徒歩10分



16

令和2年度教育センター相談件数(延べ)

- ・来所相談 5,736件
 - ・訪問相談 6件
 - ・電話相談 4,280件
 - ・ハートコール(子ども専用電話相談回線) 23件
 - ・メール相談 19件
 - ・つながりハートポスト 0件
 - ・SNS相談(子どもつながりSNS相談@越谷) 33件
- ※相談対象者は越谷市立中学校に在籍するすべての中学生
- ・スクールソーシャルワーカー 2,019件
 - ・スクールカウンセラー 3,667人※
 - ・学校相談員 9,365人※
- ※スクールカウンセラー、学校相談員については、延べ人数

17

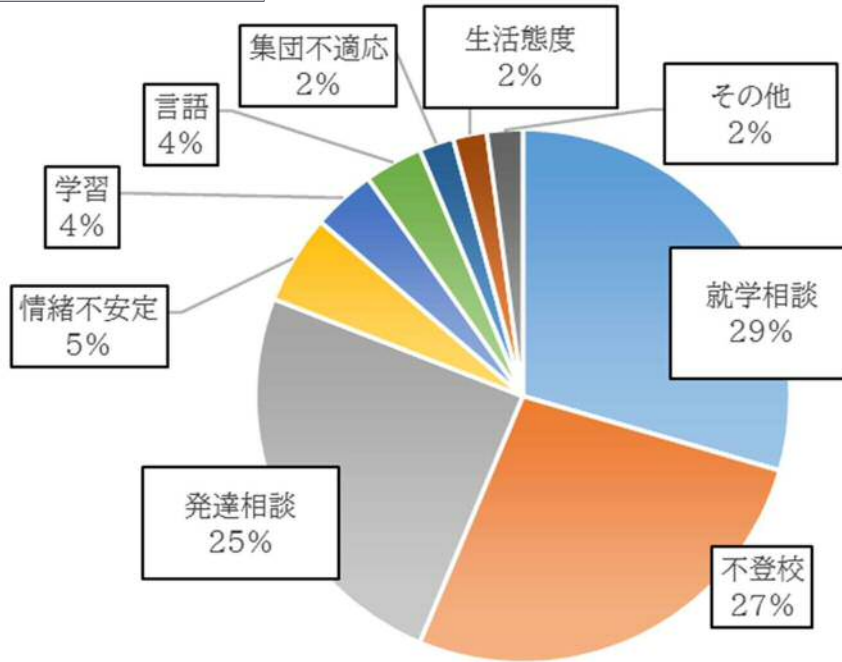
教育センター来所相談主訴(件数は延べ)

主訴	区分	就前	小学生	中学生	合計件
不登校		0	603	935	1,538
集団不適		0	109	11	120
不行		0	0	0	0
生活態度		0	99	18	117
学習		0	179	41	220
性格問題		0	0	0	0
身体		1	4	1	6
情緒不安定		5	210	95	310
進路適性		0	52	11	63
発達相談		45	777	140	1,412
就学相談		92	643	77	1,682
教育一般		17	11	1	29
いじめ		0	13	10	23
言語		54	149	0	203
虐待		0	3	0	3
合計		1,544	2,852	1,340	5,736

18

教育センター来所相談主訴割合

令和2年度来所相談件数
延べ5,736件



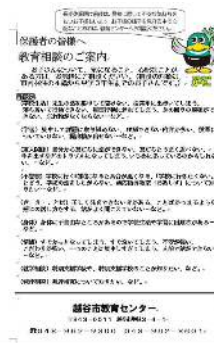
19

相談窓口の周知

教育センターにおける「教育相談案内」

- ・年長幼児全員には、就学時健診の際に配付
- ・小3～6年及び中2, 3年の全員
小1, 2年及び中1の全員には、
三つ折りタイプの物を例年、1学期当初に配付

※今年度については2学期終業式前に再度配付



どんなことでもいいよ そうだんしてね!!

越谷市教育センター 受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後7時
土曜日 午前9時～午後4時40分
日曜・祝日・年末年始はお休みです
いじめ
ともだちやかまぐさのこと
ペンぎょうのこと
がっこうにいそたかない など
小中学生のための
ハートコール
048-962-8500

「ハートコール」案内カード

- ・小1, 2年及び中1の全員
小3～6年及び中2, 3年の全員には、白黒版
を例年、1学期当初に配付

☆長期休業が明ける前には、学校Cityメールにより、登録している全小中学生保護者あてに「教育センター相談窓口の活用」について配信している。

20

相談窓口の周知

心の悩みに関するSNS相談
子どもつながりSNS相談@越谷
令和3年8月20日～令和3年9月9日 17時～21時(受付は20時30分まで)

二次元コード URL <https://city-koshigaya.school-sign.jp/>

スマートフォンやタブレットで利用するときは二次元コードから、パソコンから利用するときはURLからアクセスしてくださいね。

越谷市教育委員会 教育センター

・相談が集中した場合など、相談員が他の人と相談中で、あなたの相談に対応できない場合があります。その場合は、しばらくしてからもう一度メッセージを送ってください。

・できるだけたくさんの方の相談に対応するため、1回の相談は30分を目安にしています。

・途中で相談を離れる場合は、そのことをお知らせください。

・15分以上、お返事がない場合は、相談を終了させていただく場合があります。

・違う人になりますなどの嘘や事実と異なる内容、いたずらと判断されるようなものなどは対応できないことがあります。

電話での相談をご希望される方はこちらへ

越谷市教育センター 教育相談担当 048-962-9300 平日9時～19時 土曜日9時～16時40分	子ども専用電話相談(ハートコール) 048-962-8500 平日9時～19時 土曜日9時～16時40分
-----------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

「SNS相談」案内カード

○長期休業明け、特に2学期開始前後の子どもの不安解消のために、令和2年度よりSNS相談を導入。現在は、

- ・期間限定(夏休み明け前後 R2は21日間 R1は10日間実施)
- ・中学生のみ対象

での実施であるが、これまでの効果を検証した上で、対象学年の拡大等、検討を進めている。

21

教育センターと学校との連携

各学校においては、

- ・校長を中心に生徒指導部会や教育相談部会等の体制整備をしている
- ・そのなかで、個々の児童生徒の情報共有や他機関との連携について協議をしている
- ・その上で、教職員と学校相談員やスクールカウンセラーとの連携により、児童生徒への取組の実施

⇒教育センターも連携機関の一つとして積極的に介入している
例)学校の要請を受け、指導主事が部会に参加し助言

⇒さらに、教職員の資質向上に対する教育センター所管業務として、

- ・教育相談主任や学校相談員を対象とした研修会の開催、
- ・学校の要請を受け、校内研修講師として指導主事を派遣

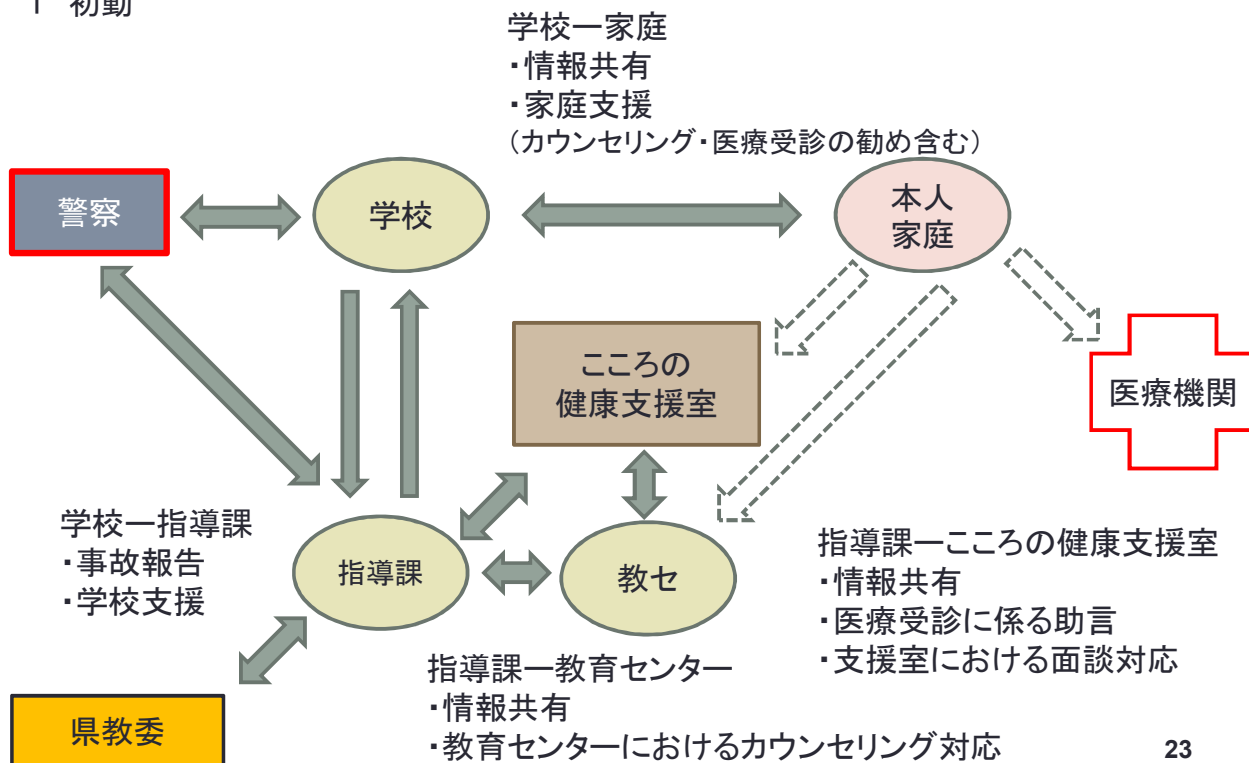
などを実施

22

事案発生時の対応例

～自殺企図(自殺未遂)を例として

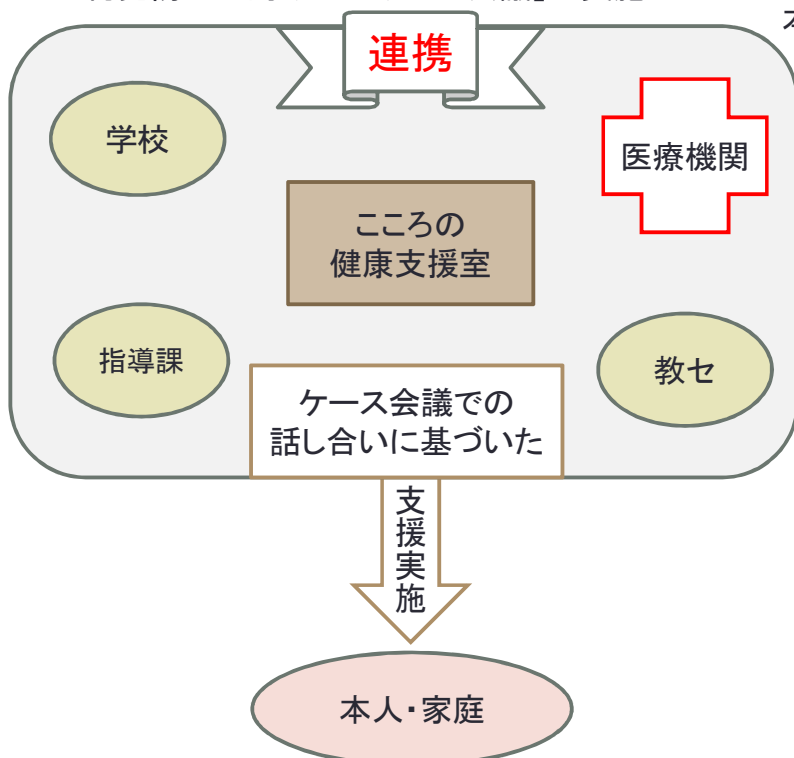
1 初動



事案発生時の対応例

～自殺企図(自殺未遂)を例として

2 再発防止に向けて「ケース会議」の実施



○ケース会議の目的

本人および家庭支援に向け

- ・会議開催時点までの情報共有
- ・参加者それぞれの専門性を発揮し支援の方向性を立案
- ・関係者関係機関それぞれが行う支援の役割分担

※ケース会議は、期間を空け、適宜開催し、支援を継続していく。

○参加者例

- ・学校 管理職 担任 学年主任
教育相談主任 養護教諭
学校相談員 スクールカウンセラー
- ・指導課 生徒指導担当指導主事
- ・教セ 教育相談担当指導主事
担当心理士 SSW
- ・支援室 ケース担当職員
- ・医療機関 主治医 MSW

※ケースによっては、福祉関係部局職員も参加⁴

ご清聴ありがとうございました。

メモ